

食品部会カテゴリー別分科会

# お惣菜会議／東京

6月のお魚会議に続き、食品部会活動、カテゴリー別分科会では7月4日に冷凍・冷蔵食品、惣菜関連のメーカーの方にお集まりいただき、東京都港区においてお惣菜会議を開催しました。参加者数は17社23名でした。

## Report

### ■知ることによる発展

らでいっしゅぼーやをより理解してもらうことをテーマとする今回の会議では、らでいっしゅぼーやの会社方針およびRadixの会について、川崎孝文商品部次長（Radixの会副会長）より説明。そして商品部方針を森田与志男商品1課長より。担当の上原篤志さんからは各商品の動向と開発方針について話していただきました。他社と比較しながら、らでいっ



らでいっしゅぼーやの会社方針から売上まで、具体的なテーマで話し合われました。

しゅぼーやに足りない商品群を実例で挙げ、公に商品提案を求めるスタイルも特徴的でした。らでいっしゅぼーやの全体像、そして開発構造をより知ることにより、更に良い関係が作られ、より良い商品開発へと繋がるのが期待されます。

### ■交流から情報交換

参加者同士の交流、情報交換もRadixの会としては盛んにしていきたい活動です。この会議では各社の自己紹介に多く時間を設けました。

ファーマーズジャパン（株）武部太志さん・佐藤正幹さん「今後は商品開発、クレームの改善をしていこうと思っています。ご指導して頂ければ幸いです」。

（株）江戸一飯田の飯田一雅さん・井波健さん「何故佃煮は皆同じ味がするの？」という質問を機に、10年前から1つ1つ商



「機」の交流を持つこともテーマ、自己紹介中（ファーマーズジャパン武部さんと佐藤さん）」

品開発をしてきました。原料も日々追求しており、原料の情報交換も望みます」。

### ■年度末の会議へ続く

お魚会議・お惣菜会議（6・7月）とカテゴリーを絞った分科会を続けて開催してきましたが、次回は来年1～2月頃を予定しています。今回2つの会議の成果を参考に、今後のカテゴリー別の会議形態を考えていく予定です。

（事務局・鈴木）

## Message

生産者のみなさんへの手紙（8月18日に生産者のみなさんにFAXでお送りしたお手紙より）

### 冷夏・台風・異常気象に苦しむ 生産者のみなさんへ

前略。5年越しの首都圏センターが今日（8/18）からスタートしました。本社勤務スタッフと沼影スタッフ全て1Fの野菜ラインを稼働できる体制になりました。

慣れぬ事は「カソ」で現場は早朝から数場ですが、新しいセンターでみなさんの魂の込められたやっくらだものをお届ける幸せを日々感じています。

生産者のみなさんは予期せぬ気候で自然相手の数場に日々苦勞されている事がほんとうに目に浮かびます。永保の大被害をはじめ「収穫ゼロ」「病気で壊滅」「品質劣化」等厳しい報告が入って

きます。今日8/18（月）未念ぬ農産部では「冷夏対応」から「冷夏対策」に切り換えスタッフ一同生産者＝作物の対応により親身に応えていきます。

どんどん早めに「原因や作物のこと」「生産者自身の疲れ…他」「病虫・味等」連絡下さい！

辛い時、苦しい時、自信を失いそうな時こそ生産者とうでいっしゅぼーやの「信頼」がわかるのです。お互い明日を見て元氣返さう！

合掌  
いっしゅぼーや 農産部 部長 後藤和明